

# 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
福岡市	今宿地区	令和4年3月30日	令和6年3月29日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	71ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	56ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	23ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	17ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	4ha
(備考) ・地域の南部は、ほ場整備が行われた農地が広がり、水稻・軟弱野菜・ぶどうの生産が活発に行われている。地域の北部は、区画整理により農地の宅地化が進んでおり農地が減少している。 ・「田んぼアート」の取組みが行われ、市民との交流が盛んに行われている。	

## 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"><li>・農家の高齢化と担い手組織の育成・後継者対策の必要性の拡大</li><li>・遊休農地の増加</li><li>・軟弱野菜等の生産量が拡大していない。</li><li>・有害鳥獣被害（イノシシ・サル・小動物）の拡大</li></ul>
--

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"><li>・認定農業者を中心に遊休農地を活用する。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・若手農業者による農業振興を行う。</li></ul>

## 4 3の方針を実現するために必要な取り組みに関する方針

<ul style="list-style-type: none"><li>・認定農業者を中心とした管内遊休農地の活用協議の実施</li><li>・若手農業者による意見交換会の実施</li></ul>
--

(参考) 農地の貸し付け等の意向

	農地の所在 (地番)	貸付け等の区分 (㎡)		
		貸付	作業委託	売渡
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
	計	0	0	0

(参考) 中心経営体

属性	現状		今後の農地の引き受け意向		
	経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	果樹類	1.6ha	果樹類	1.6ha	今宿
認農	複合経営	1.6ha	複合経営	1.6ha	今宿
認農	肉用牛	0.2ha	肉用牛	0.2ha	今宿
認農法	複合経営	29.2ha	複合経営	33.2ha	今宿
安経	施設野菜、その他	1.9ha	施設野菜、その他	1.9ha	今宿
安経	施設野菜	0.9ha	施設野菜	0.9ha	今宿
安経	露地野菜	0.7ha	露地野菜	0.7ha	今宿
安経	水稻	2.2ha	水稻	2.2ha	今宿
計		38.2ha		42.2ha	

注) 属性欄の「認農」は個人の認定農業者、「認農法」は法人の認定農業者、「認就」は認定新規就農者、「安経」は安定的な農業経営者、「受組」は受託組織を示しています。